

第1回 IBAF 12 U 世界選手権(台湾/2011) 試合結果

1st IBAF 12U Baseball World Championship - Taopei

2011年7月10日(日) 大会第3日目 球場名:天母球場

試合開始 15:00

試合終了 16:55

チーム	1	2	3	4	5	6	計
JAPAN	0	0	0	3	0		3
CHINESE TAIPEI	0	1	5	2	5×		13

大会規程により5回コールド

バッテリー

JAPAN P) 吉峰、舞田、奥野、別府

C) 松本

CHINESE TAIPEI P) Chen T.Y、Chung. W. e

C) Tseng W.E

二塁打 Chu M.k 2、Wang Y.c (TPE)

三塁打

本塁打 Chen T.Y、Chu M.k (TPE)

主審: Kim J H (KOR)

TC: Santiag G (RUR)、Lachlan D (AUS)

【戦評】

予選ラウンド前半戦の踏ん張りどころ。地元台湾チームへの大声援の中、試合が始まった。

日本チームは左腕エース吉峰が先発。初回は順調な立ち上がりを見せたが、2回に1アウト1塁から7番打者に2塁打を許し、台湾チームに先制点を許した。

3回には、ツーアウトから3番打者にソロホームラン、7番打者に満塁ホームランを浴び降板。

日本打線は、6点をリードされた4回に3安打1四球を集め、3点を返して反撃するが、相手先発投手に投球数制限(85球)到達まで粘り強い投球をされた。

5回も勢いに乗った台湾打線に5得点され、10点差となったところで試合終了。

日本チームは負けはしたが、最後まで全力でプレーを続け、試合終了後には、台湾チームの大応援団から日本チームへ健闘を讃える大きな拍手を受けた。

